

SCOUTING

2020
No.740
11

野口宇宙飛行士 3度目の宇宙へ

指導者訓練における自己研鑽
Scouting Never Stops!

第47回全国ボーイスカウト写真コンテストより

CONTENTS

- 02 ボーイスカウト・アンバサダー
野口宇宙飛行士 3度目の宇宙へ
- 04 Scouting Never Stops!
コロナ禍の中で「富士スカウト章」取得
- 06 指導者訓練における自己研鑽
- 11 野外活動のための安心・安全講座
“思いやり”のある組織・チーム作り
- 12 文部科学省委託事業
ボーイスカウトと遊ぼう！
ワクワク自然体験あそび
- 14 スカウティングとSDGs
一緒に考えよう！持続可能な社会のために
- 15 報告 スカウトの日
- 16 第48回 全国ボーイスカウト
写真コンテスト作品募集
- 17 報告 RCJ フォーラム2020
- 18 ローカルホットライン
- 19 信仰奨励
- 20 維持会員
- 22 12月は「寄付月間」
- 23 新春誌上名刺交換のご案内
- 24 スカウトショップ

ボーイスカウト・アンバサダー

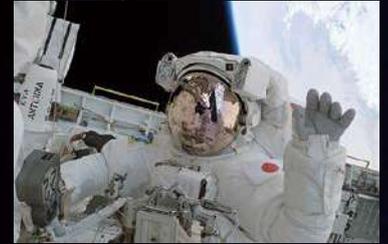
野口宇宙飛行士 3度目の宇宙へ



本誌2020年1月号 (No.735) では、訓練のさなか、スカウトに向けた新春メッセージをくださった野口 JAXA 宇宙飛行士。ボーイスカウト・アンバサダーでスカウトの先輩として、スカウト活動で身につけた「そなえよつねに」の精神や、夢を追うことの大切さを伝えてくださった野口宇宙飛行士が、この秋*、ご自身3度目となる宇宙飛行に挑戦されます。

国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在クルーとして約半年間のミッションに挑む野口宇宙飛行士を応援するとともに、私たちもそれぞれ何か新しい挑戦を始めてみませんか。

* 11月上旬から中旬以降、アメリカ・フロリダ州ケネディ宇宙センターより打ち上げ予定 (10月15日現在)。



©NASA



第17回日本スカウトジャンボリー

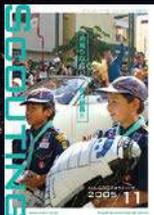


ボーイスカウト・アンバサダー就任

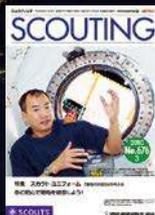


防災キャラバン

©NASA



『スカウティング』
2005年11月号



『スカウティング』
2010年3月号



『スカウティング』
2014年9月号



第17回日本スカウトジャンボリーでスカウト通信員たちと

挑戦をやめない生き物を、人類と呼ぶ。

野口宇宙飛行士は、今回、アメリカの民間企業スペースX社が開発した宇宙船クルードラゴン(クルー1)に搭乗。「レジリエンス(resilience: 立ち直る力・順応力)」と名づけられたクルー1には、携わったチームの献身を称える想いや、「人々との協力によって成し得ることに限界はない」という意味のほか、家族や同僚、市民への敬意が込められ、いよいよ本運用を迎えました。

野口宇宙飛行士が所属するJAXA(宇宙航空研究開発機構)は、今回の約半年に及

ぶ宇宙飛行に「挑戦をやめない生き物を、人類と呼ぶ。」というキャッチフレーズを掲げ、さまざまな挑戦やプロジェクトを実施しています。

私たちも、新型コロナウイルス禍という困難な状況に対して「Scouting Never Stops!」をキーワードに、スカウティングの歩み続ける挑戦の最中です。野口宇宙飛行士のミッション成功と無事帰還を祈りながら、スカウティングの歩みを止めず、それぞれの挑戦を続けていきましょう。

野口宇宙飛行士応援ワッペンを着用して、さまざまなチャレンジをしよう！

野口宇宙飛行士応援ワッペンを着用して、野口宇宙飛行士のミッションと同じ半年の間に自分が「挑戦」することを、家族や隊の仲間の前で表明しましょう。さらに、日本連盟ホームページの特設ページでダウンロードできるフォトフレームなども活用しながら、その表明に「#挑戦をやめない」「#boyscout」の言葉を添えてSNSで発信し、先輩スカウトである野口宇宙飛行士にもスカウトたちが全国でそれぞれの「挑戦」をしながら半年間を過ごす決意を伝えましょう。多くの人と共有する「挑戦」が、国際宇宙ステーションにいる野口宇宙飛行士にも励みとなるでしょう。



野口宇宙飛行士応援ワッペンは各県連盟、SCOUT SHOP TOKYO および SCOUT SHOP (ONLINE STORE) で有償頒布いたします。

(実物大8cm)

野口宇宙飛行士とボーイスカウト

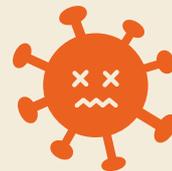
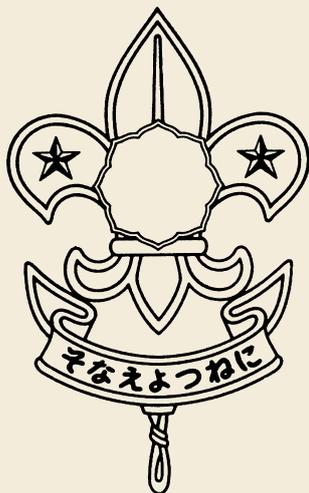
★：野口宇宙飛行士 宇宙滞在

- 1974年 兵庫・姫路第8回カブスカウト隊入隊
- 1977年 転居に伴い、神奈川・横浜第94回ボーイ隊に移籍。(現在も神奈川・茅ヶ崎第2回ビーバー隊副長として在籍)
- 1996年 宇宙飛行士に選出
- 1997年 日本連盟創立75周年記念式典に出席
- 2005年 ★スペースシャトル搭乗(スカウト運動100周年記念旗を携行)
- 2006年 第14回日本ジャンボリー(石川)来場/スカウティング褒章受章(日本連盟第1号)
- 2009年 ★国際宇宙ステーション半年間プロジェクト(15NJ 大会ワッペンを携行)
- 2010年 第15回日本ジャンボリー(静岡)来場
- 2013年 第16回日本ジャンボリー(山口)来場
- 2014年 ボーイスカウト・アンバサダーに就任
- 2015年 第23回世界スカウトジャンボリー(山口)来場
- 2017年 第17回日本スカウトジャンボリー(石川)来場
- 2017年 全国防災キャラバン(千葉)でローパススカウトとともにトークイベントに参加
- 2020年 ★民間宇宙船クルードラゴン搭乗(100周年記念ワッペンを携行)



野口宇宙飛行士応援特設ページ

<https://www.scout.or.jp/member/scout-noguchi2020-2021>



Scouting Never Stops!

コロナ禍の中で 「富士スカウト章」取得

夏の暑さも落ち着き、活動しやすい季節となった秋。全国各地から、新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の感染予防対策を徹底したうえでの活動再開の声が聞こえています。

今号では、新型コロナによる影響を受けながらも、「進歩に関する特別措置」を適用して「富士スカウト章」を取得したスカウトの事例をご紹介します。

■ 進歩に関する特別措置

本誌2020年9月号（No.739）でもご紹介したとおり、新型コロナへの対策として「進歩に関する特別措置」を講じています。これは教育規程7-33「考査の原則」および7-34「考査の基準」に則して「隊長の責任において特別な考査基準や考査方法を設けることができる」ことを重点に柔軟な対応をすることで、スカウトの活動意欲（特に進歩に対する意欲）の低下を防ぎ、進歩や進級の歩みを止めないことを目的としています。

特別措置を講じる際は、環境や状況に合わせて活動や考査の方法を柔軟に設定するほか、活動制限の緩和など状況に変化があれば、考査基準および考査方法を逐次見直しましょう。

また、スカウトの進級に対する挑戦意欲や成果、「ちかい」と「おきて」の実践等を評価し、困難な状況下で進歩および進級したことに対してスカウト自身が誇りをもてるように最大限配慮しましょう。

挑戦している進級課程の項目が上進時期までに修了しなかった場合には、継続あるいは次の課程と並行して取り組み、進級章取得に挑戦することができます。特に、ベンチャースカウト（隼スカウト）が挑戦の対象である「富士スカウト章」については、ベンチャー隊にとどまれる期間（18歳に達する日以後の、最初の3月31日まで）を過ぎた4月1日以降も「富士スカウト章」の申請を6か月間延長することが可能です。

✓ コロナ禍でも、できることを最大限に 埼玉・川越第2団

■ 富士スカウト章取得までの経緯

2020年1月31日
隼スカウトになり、ここから富士スカウト章取得のため、技能章、宗教章、プロジェクトの取り組みを開始。

2020年8月23日
地区面接（少人数で対面実施）

2020年9月20日
県連盟面接（少人数で対面実施）

2020年10月3日
富士スカウト章取得

■ 特別措置を適用した項目

2. スカウト技能

(2) 自ら設定する課題により、2泊3日の単独キャンプ（固定または移動）を計画し、隊長の承認を得て実施後、評価を報告書にまとめ隊長に提出する。

➔ 宿泊を伴う活動が制限されていたため、後日実施し報告書を提出することとした。

5. 信仰

(1) 宗教章を取得するか、取得に対して努力したことを隊長に認めてもらう。

➔ 2020年4月および5月に仏教章の講習会に参加を予定していたが、講習会が中止になったため、次回講習会開催時（10月および11月）に参加して取得することとした。



「未来予想図プロジェクト」

ボーイ隊のスカウトたちがベンチャー隊に上進して、より良き社会人になっていけるように、自分たちがボーイ年代のころに悩んでいたことや知りたいと思っていたこと（スカウト活動と部活や勉強との両立、進路や将来など）について、先輩スカウトとして体験談などをふまえてアドバイスした。

スカウトの感想

ベンチャースカウト
森 陽太（高3）

スカウト活動や学校での授業が急になくなり、家にいながら何も手につかない状況が数日間続きましたが、逆にフリーで使うことができる時間が増えました。その中で、何もせずに寝ているのではなく「何かしてみよう」と布団から出るだけでも目の前は明るくなると思い、「今がチャンスだ!」と前向きに考え、富士スカウト章取得に向けた時間としました。

『スカウティング フォア ボーイズ』をもう一度読み直したり、竹細工章や木工章など家で取り組める技能章に取り組みんだり、外出できないからこそできることに着目してレポートに取り組みました。

レポートの作成では、パソコンなどのデジタルツールを活用することにより、手書きよりも内容の向上に時間をかけることができ、より良いものができたと思います。また、進級に挑戦することは自分の基礎知識や能力の向上に繋がるため、自分自身が楽しく取

隊長所感

ベンチャー隊長
久保 大輔

スカウトが「10月までに富士スカウト章をとる!」と目標をもち、取り組みました。コロナ禍でも取得できる技能章や、実演できない項目についてはレポートに取り組みなど、この状況でどのように取り組んだらよいかをスカウト自らが考えて進めていきました。

隊長として、実演を中心として課題に取り組みたいと考えていましたが、なかなかできる状況にならなかったため、レポートを中心に進めました。リモートでの打ち合わせやメールでやり取りをしながらレポートを進め、技能章は自宅で実施した成果を写真に撮ってレポートにして審査員に確認していただきました。スカウトは、かなりの分量のレ

夢が見れないコロナ禍だから、みんなで夢を語って見ないか?

君たちの夢は何だ?

第1回 「未来予想図プロジェクト」

川越2団 ベンチャー発信

第1回「未来予想図プロジェクト」のご案内

日時：2020年8月29日(土) 16:00 から一時間程度
場所：川越市 中央公民館
住所：〒350-0054 川越市三久保町 18-3
対象：川越2団ボーイ隊スカウトおよびその保護者様
参加費：無料
内容：ベンチャー隊、2団リーダーの演説

コロナ対策：・各席を離しできるだけ距離をとる。
・参加者全員の手指の消毒、マスクの着用
・使用する前後のイス、机の消毒
お願い：ご参加の際はご自宅での検温と、マスクの着用をお願いします。
また、37.5℃以上の熱があった場合御参加はお控え下さい。

り組むということが大切だと感じました。

今回の富士スカウト章取得にあたっては、外出自粛等で野外活動ができる機会があまりなかったため、家でできることを考えて課題や技能章に取り組みましたが、今後、野外活動のスキルを高めるために、他の技能章にもチャレンジしていこうと考えています。

全国で活動するスカウトの仲間にも、自分の実力や知識を形として表すために進級に取り組み、富士スカウト章の取得に向けて頑張ってもらいたいと思います。また、自分自身も富士スカウト章の取得をゴールにせず、引き続き努力していこうと思います。

ポートを頑張って作成しました。また、リモート(ZOOM等)の利用については、高校生年代は学校等で使用していることも多いようで、すんなり実行できるので活用しやすいです。

何よりも、スカウトのやる気が大切なので、隊長として「新型コロナのせいでできなかった」「自粛中だったからしょうがない」などとスカウトが思わないように支援を続けることが大切だと思います。そのために、特別措置の内容をよく確認し、地区コミッショナーや地区の進歩進級担当委員に相談して、どのように取り組むとよいか活動計画を立てることで支援しやすくなると思います。

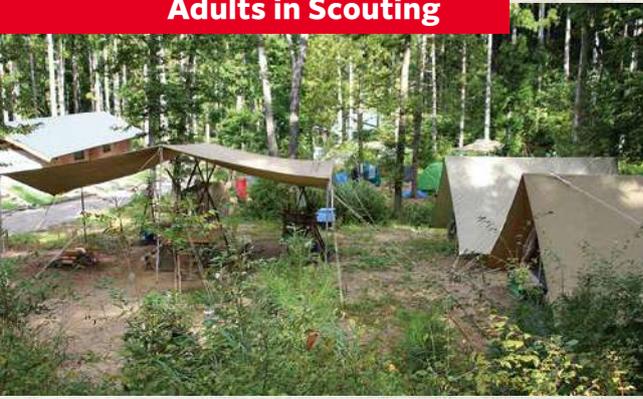


今回紹介した事例のように、スカウト運動の本質を捉えながら、今までの常識にとらわれない新しいスタイルでの活動にスカウトが取り組んでいけるよう、指導者として柔軟な考えをもち、スカウトを支援していきましょう。

Scouting Never Stops!



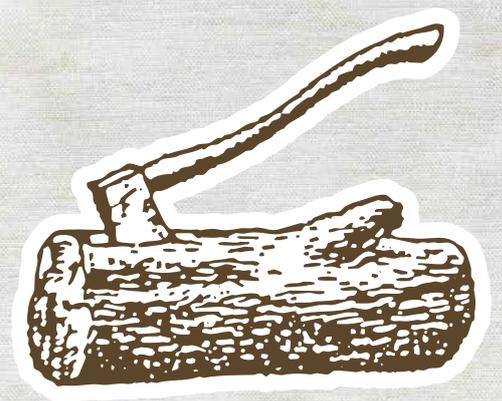
https://www.scout.or.jp/member/covid19_scout_advancement/



指導者訓練における 自己研鑽

日本におけるスカウティングの創成期から、指導者訓練は体系的集合訓練とともに、指導者自身が学習や研修を進める「自己研鑽」という形で展開され、多くの指導者がスカウトとともに成長してきました。

「自己研鑽」という言葉は、自分自身で学問などを深く究めるという意味です。ボーイスカウトの活動において、これは単なる取り組みとしてではなく、指導者が自身の責務として行うことです。今号では、指導者の「自己研鑽」について改めて考えてみましょう。



■ スカウト運動における成人に関する世界方針

世界スカウト機構(WOSM)は、下記の4つのポリシーに従って、スカウト運動を推進しており、「世界青少年プログラム方針(World Scout Youth Programme Policy)」と「世界スカウト青少年参画方針(World Scout Youth Involvement Policy)」を有効に進めるために、「セーフ・フロム・ハーム世界方針(Safe from Harm World Policy)」と「スカウト運動における成人に関する世界方針(Adults in Scouting World Policy: 以下、AIS ポリシー)」がそれらを支える役目を担います。

AIS ポリシーでは「スカウトの教育、成長のためには成人の関わりが不可欠である」として、スカウトとの関わり方を示すだけでなく、スカウトが活動を通じて成長することに成人が寄与するためには、関わる成人にはさまざまな研修が必須であり、特に「スカウティングに関わることによって、成人自身がさらに成長することも必要である」としています。

つまり、スカウトのみならず指導者自身の成長を促し、ともに成長することがスカウティングの本質であるとしています。



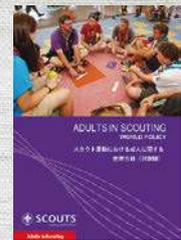
世界青少年プログラム方針



世界スカウト青少年参画方針



セーフ・フロム・ハーム世界方針



スカウト運動における成人に関する世界方針

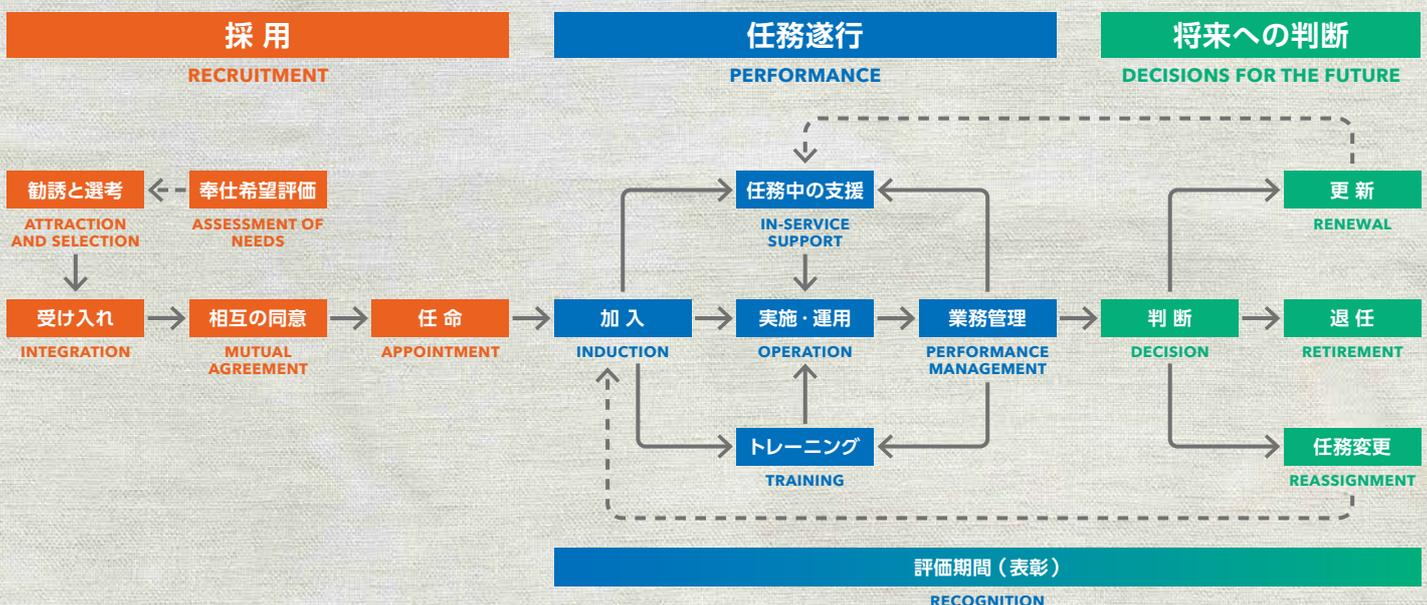
■ 成人のライフサイクル

WOSMはAIS ポリシーの中で下図のような「成人ライフサイクル」を明示しています。これは、スカウティングに関わるすべての成人が、この運動に関するすべての段階において、その役務および任務の遂行に対して支援を受け、それぞれに必要な知識や技能を習得することで成長し、その能力がスカウト運動に十分に発揮できるよう体系的に明示されたものです。

このライフサイクルにより、個人の能力をさらに向上させ、適切な機会を活用できるように推進していきます。

実際には成人のライフサイクルにおいて、「イン・サービス・サポート(任務中の支援)」や「トレーニング」を受けることで任務を遂行していきますが、それら双方において自己研修の必要があります。

普段から自己研修を行うようにし、トレーニングに参加した後不足している部分を補完したり、他者から支援を受けたりするなど、たゆまぬ自己研修が自分自身の成長とともに、スカウトを成長へと導いていきます。



■ スキルトレーニングに挑戦しよう

スキルトレーニングは指導者への第一歩！ 難しいことはまったくありません！

スキルトレーニングは、「野外を中心とした活動を通じて青少年を育成、指導できる指導者」および「スカウトや保護者に支持されるプログラムを提供できる指導者」の養成を目指して行うものです。

ビーバースカウト部門からローバースカウト部門まですべての指導者が、プログラムを展開するための道具としてスカウトスキルを身につけることで、より冒険的な活動を展開できるようになります。

指導者として必要最低限のスカウトスキルをトレーニング項目に設定し、魅力的かつ安全な活動が展開できるようになることをスキルトレーニングのねらいにしていますので、「ビーバー隊指導者だからスカウトスキルは必要ない！」ではなく、指導者がスカウトスキルを活用したプログラムを展開することで、年少部門でも「ボーイ隊になったら、あんなに楽しい活動ができる」と、ボーイスカウトらしい活動をスカウトに味わわせることができるよう、さまざまなスキルを身につけましょう。

コロナ禍でも取り組める スキルトレーニング項目を 再確認しましょう！

コロナ禍により、これまでのように大勢で集まってプログラムを実施することは難しい状況ですが、スカウトスキルは自宅に一人でもいるときにトレーニングすることが可能です。

『スカウトスキル・セレクション』（日本連盟発行）には、スキルトレーニングの項目それぞれのトレーニング方法を記載しています。今だからこそ、指導者自身がスカウトスキルを身につけるチャンスです。そしてそれは、新たなプログラムの開発をするチャンスでもあります。



『スカウトスキル・セレクション』

日本連盟発行

スキルトレーニング履修項目一覧

項目	細目
1 ロープワーク	1. 次のロープ結びについて実演できる。 ・本結び ・ひとえ継ぎ ・ふた結び ・もやい結び ・8の字結び ・てぐす結び ・巻き結び ・ねじ結び ・ちぢめ結び ・引きとけ結び ・馬つなぎ ・トートラインヒッチ ・垣根結び ・角縛り ・筋かい縛り ・アイスブライス ・バックスブライス ・からみ止め
2 地図とコンパス	(1) 16方位と方位角の呼び方をおぼえ、プレートコンパスを使用することができる。 (2) 地形図に座標軸および磁北線を記入し座標読みができる。 (3) 地形図上に示された2個の目標物と現在地点との方位角、標高差、および道路に沿った歩行距離を読むことができる。 (4) 地形図上に示された10種10個以上の地形図記号を判別することができる。 (5) 1線式または2線式路線記録法により野帳を記入し、略地図を作成できる。
3 野営技能 (野営工作、野外炊事含む)	(1) 家型テントの設営、撤営と維持管理ができる。 (2) フライtent (タープtent) の設営、撤営と維持管理ができる。 (3) 班サイトの設計と維持管理ができる。 (4) BS 隊を想定した3泊以上のキャンプを経験する。 (5) 班の炊事に適する2種以上のかまどを使い、薪で炊事ができる。 (6) 薪以外の燃料を2種以上使用して炊事ができる。 (7) 食料の貯蔵と保管方法について説明できる。 (8) 班キャンプに必要な野営工作物を2種以上作成し、活用することができる。 (9) キャンピング中の危険防止と衛生を保つ方法を説明できる。
4 通信 (手旗、信号、サイン等)	(1) ハイキングにおいて自然物を利用した追跡記号を通信文を含めて配置できる。 (2) カタカナ手旗信号で20字程度の通信文を意味を間違えずに発信・受信できる。
5 刃物の取り扱い	(1) 刃物の携帯に関する法律について説明できる。 (2) ナイフの正しい使い方と安全について説明できる。 (3) ナイフの研ぎ方が実演できる。 (4) なた、オノの正しい使い方と安全について説明できる。 (5) なた、オノの研ぎ方が実演できる。
6 計測と簡易測量	(1) 100メートルの距離を誤差5%以内で歩測できる。 (2) 簡易測量法を用いて、到達できない2点間の距離を測る。 (3) 簡易測量器具を用いて樹木などの高さを測る。
7 救急法	以下の職業に従事する者、および各種講習会修了認定者は7救急法について履修認定する。 ・医師 ・看護師 ・日赤救急法救急員養成講習修了者 ・消防局消防本部による上級救命講習認定者 ※ただし、(6)については、上記有資格者であっても、履修認定が必要となる。 (1) 他の人に次の応急手当ができる ・うちみ ・手首足首のねんざ ・目のちり ・足のまめ ・虫さされ ・切り傷 ・やけど ・ひどい日焼け ・鼻血 ・毒蛇にかまれた傷 ・犬にかまれた傷 ・熱中症 (2) 直接圧迫止血法ができる。 (3) ショック、食中毒、ガス中毒のそれぞれの症状を知り、応急処置ができる。 (4) 心肺蘇生法が正しくできる。 (5) AEDの取り扱いが正しくできる。 (6) 他の1名と協力して急造担架が作れる。

自宅でできるスカウトスキルトレーニング

まずは日本連盟が発行している書籍類を見直してみましょう。特に、前述の『スカウトスキル・セレクション』には、ビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャースカウト各隊で、すぐに実行できるプログラム展開例を記載しています。

プログラムを展開するためには、その活動に必要なスキルを覚えなければなりません。どのようなスキルを身につけなければならないか、ポイントを自分で確認しましょう。

● 自己のスキルを確認

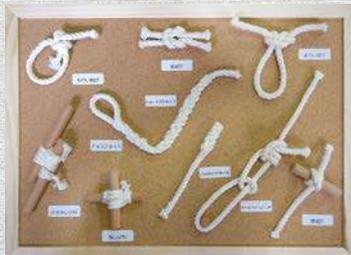
一人では、練習したスキルが本当に正しいのか、不安に思うこともあるかもしれませんが、オンラインで映像を通じて仲間に見てもらうことにより、確認を進めることもできます。



● ロープ結び (ノットリングボード)

ポイントを確認しながら結び方を覚えましょう。このとき、2色のロープを使うことで、さらに結びの構造が一目で分かりやすくなります。

自分が覚えた結び方をいつでも確認できるように、ノットリングボードを作るのも有効です。結びの名称や用途なども記載できると、より良いものになります。



● パイオニアリング (ミニチュア製作)

結び方を覚えたら、結び方の用途や特徴を踏まえて、ミニチュアパイオニアリングを作りましょう。割り箸や丸棒などを材料に、ロープはたこ糸を使い、丸太を縛るように工作物を作ります。



● バーチャルハイキング

ハイキングを行うためには、コンパスの使い方、地図の読み方、地図記号や16方位などを覚える必要があります。

国土地理院の地形図を使用し、



地形図上でマップメーターや座標定規を使って野帳をつけてみましょう。同時に、グーグルマップなどを活用してハイキングコース周辺の観察をしたり、活動場所付近の AED 設置場所を調べて確認したりするのもいいかもしれません。

● 救急法

三角巾の使い方や急造担架の作り方を確認してみましょう。また、救急キットに必要なものを考え準備したり、使用期限切れのものがないか確認するなどのメンテナンスも大切です。

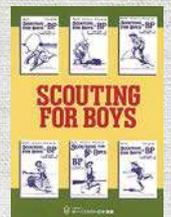


専門的な応急処置の知識については書籍などから学習できますが、実技を伴う応急処置についても、自宅で自分自身でできることを繰り返し練習し、救急時の事前準備として身につけておきましょう。

● 『スカウティング フォア ボーイズ』

『スカウティング フォア ボーイズ』を改めて読んでみましょう。

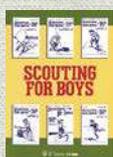
さまざまな挿し絵やゲームなどが物語の一部として描かれており、具体的なゲームの方法などを参考にすることができます。簡単に活動に取り入れられるものもあるので、プログラムの材料として覚えておくとよいでしょう。



ここで紹介したスキルトレーニングは、単純に方法を学ぶだけでなく、スカウト運動の創始者ベーデン・パウエルが言った「スカウティングはゲームである!」のとおり、ゲームを楽しく行うための手段になります。

ゲームの道具としてスカウトスキルを身につけ、その知識や技能をスカウトへ伝えていくことが指導者の役割でもあります。指導者がスカウトスキルを身につけ、それを実践することが、日本のスカウティング全体を活性化することにも繋がります。

スキルトレーニングの参考書籍



『スカウティング
フォア ボーイズ』
品番: 65153
¥1,540-



『スカウトスキル・
セレクション』
品番: 67301
¥1,980-



『スカウトハンドブ
ック ベーシック』
品番: 61037
¥1,200-



『ロープむすび』
品番: 65220
¥550-



『計測』
品番: 61077
¥648-



『地図とコンパス』
品番: 65189
¥550-



『救急法』
品番: 65277
¥1,430-

■ 新しいボーイスカウト講習会

ボーイスカウト講習会は、新たに指導者として活躍していただく方への「導入訓練」として、また保護者を含めた多くの方々にボーイスカウト活動を知っていただくことを目的として開設しています。今年度から内容を改定して展開していますので、ここで改めて紹介いたします。

● 改定のポイント

講習会に参加することで「自分でもやってみたい」「(保護者として)子どもにやらせてあげたい」「(ローバーとして)これからも活動を続けたい」と実感してもらえよう、より体験的な方法を取り入れるほか、動画などを活用することでボーイスカウトのイメージを視覚的に理解できるようにしています。

● 講習会の流れ

講習会は7時間で、開催時間はこれまでと変更ありませんが、5つあるセッションの時間配分を見直し、体験の時間に重点を置くことで、一日の流れにメリハリをつけています。

● 講習会のトピック

観る 映像資料の視聴で「ボーイスカウト」の組織や歴史を広く学びます。



体験する ストーリー性のある想定で、ボーイスカウトの班集会や隊集会を体験します。



ゲーム感覚で ボーイスカウト運動の教育方法、部門の特徴などを学びます。



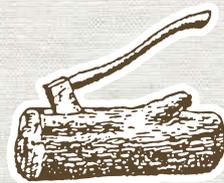
観る 保護者インタビューの映像資料を視聴することで、指導者だけではなく保護者も含め、皆でスカウティングを支えていることを実感します。



自ら語る それぞれの立場でスカウトのために何ができるかを話し合い、得られる支援を知ることができます。



指導者として任務にあたるための自己研鑽として、まだ講習会に参加したことのない方はもちろん、これから指導者になるローバースカウトや保護者の方にもぜひ積極的に参加していただきましょう。また、過去の指導者講習会やボーイスカウト講習会を修了した方も、再度この体験型となった「新ボーイスカウト講習会」に参加することが可能です。



スキルトレーニングの取り組みについて、よくわからない細目や自信のない細目があったら、まずは団内の指導者同士で相談してみましょう。スキルトレーニングは、2級スカウト章と1級スカウト章レベルのスカウト技能ですので、あなた自身の少しのやる気と努力、そして団内で手助けを得ることですぐにできるようになります。

この機会に身近な団の仲間の支援を受けながら、スキルトレーニングによってスカウトスキルを身につけてください。地区や県連盟では、スカウトスキルやキャンプスキルについて、定型外訓練を実施しているところもあります。このような機会を通じてスキルトレーニングを認定してもらうこともできます。

スキルトレーニングの細目の認定については、日本連盟トレーナーやスキルアップアドバイザーが認定します。もし身近に認定者がいない場合は、地区や県連盟のコミッショナーに相談し、紹介してもらうようにしましょう。

今回は、指導者の自己研鑽として、コロナ禍でもできるスキルトレーニングを中心に確認しました。スカウトの進級同様に指導者も自己研鑽を積み、多くのスカウトの育成に関わっていきましょう。

日本連盟ホームページにおいて「AIS ポリシー」ほか、WOSM が発行している各種資料を公開しています。特定分他の責任者向けのものやコミッショナーを対象としているものもありますが、参考資料としてご覧ください。



https://www.scout.or.jp/member/wosm_documents/

指導者養成委員会

■ 野外活動のための安心・安全講座

“思いやり”のある組織・チーム作り

今回は、組織の人材開発を行っている荻野淳也氏の著書（末尾参考文献）を参考に、「思いやり、信頼できるチーム作り」について考えます。

Google 社が、「生産性が高いチームが持つ共通点」について、社内180のチームを対象に調査しました。以下の①～④は調査員たちが予想していた結果です。

- ① 優秀な人材がそろっている
- ② カリスマ的なリーダーがいる
- ③ チーム構成の良さ
- ④ メンバー同士が頻りに食事を共にしている

しかし、実際の結果は①～④のどれでもなく、“チームの中に「心理的安全性」がある”ということでした。これは、チームの中に不安や恐れがなく、お互いの個性を受け入れて信頼し合うことができ、安心して自分らしくいられるということです。常に生産性や成果が求められる Google 社のような組織でさえ、最も重要な要素は“思いやりのあるチーム”だったのです。

荻野氏は、思いやりと信頼に基づいたチームになるための4つのステップを、著書の中で示しています。



“思いやりのあるチーム”作りの4ステップ（荻野氏の著書を基に作成）

1. 「気づきの力」をトレーニングする

出発点の Step1 気づきの力とは、「今、ここにある自分の心と身体の状態にしっかりと気づく力」のことです。

例えば、私たちは「イラっとして誰か（モノ）にあたってしまう」ことがあります。これは「イラっとする」という感情と、「誰か（モノ）にあたる」という行動が自動的に1セットになっている状態のようです。気づきの力とは、イラっとしたときに「あ、今自分はイラっとしたな」としっかり気づいて、これに注意を向けることができる能力のことです。

まずは、Step1 気づきの力のトレーニングから始めてみましょう。

1 自身の感情や身体の状態に注意を向けて観察する

自身の感情に気がつくと同時に、身体のだのの部分にどのような変化が生じているか（心臓がバクバクしている、頭に血が上っている、息が荒くなるなど）にも注意を向けて観察してみます。

2 観察したものを評価せずに、あるがままに受け止める

「イラっとしてはいけないな」などと評価したり抑え込んだりせずに「あ、今自分はイラっとしたな」と、あるがままに受け止めます。

このトレーニングを続けることで、注意力と集中力が身につけてくるということです。すると、Step2の自己認識力や自己肯定感が高まっていき、行動の手前で立ち止まることができるようになり、これによって Step3の共感・コミュニケーション力の向上、Step4の思いやりのあるチームの実現へとつながっていきます。

簡単なようですが、私たちの心には過去の後悔、未来の心配、不安などの思考がいつもめぐっているため、今この瞬間に自身に起きていることに対して、常に注意を向けるということが難しいのです。そのため、気づきの力は筋トレと同様に、日々のトレーニングが大切です。

2. やってみよう！「気づき」のお天気ワーク

下記は、いつでも個人でもできるワークです。組集会や班集会などの始まりに取り入れてみてはいかがでしょうか。参考にしてみてください。

ココロのお天気観察ワーク：今の自分の中のお天気は？	
方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. みんなで向かい合って輪になる（立位でも座位でも OK） 2. 自分と向き合う静かな時間を作る（1分くらいで OK） 「今の自分の中のお天気はどんなだろう？ それはなぜだろう？」 3. 仲間と伝え合い、共有する（伝えられる範囲で OK）
知っておくべき大事なポイント	<ul style="list-style-type: none"> • 天気は刻々と変わるもの。雨の日もあれば晴れの日もあり、突然の雷雨もある。自分の心の中のお天気も同じであることを知ろう。 • 今の心の中のお天気に対して、否定や評価をしたり無理に変えたりしようとせずに、あるがままに受け止めてみる（自分のことも仲間のことも含む）。 • うまく表現できなくてもよい。自分の心のお天気をうまく表現したり決めたりできなければ、それをそのまま伝えればよい（「なんだか今日はうまく表現できない」で OK）。
指導者の方へ	<p>自身の状態をお天気で伝えるというのは、簡単なようで難しいことです。何も伝えられないで終わってしまうと、落ち込んでしまうかもしれません。そのような場合には、お天気のほかに「今日の自分の決意や願望」として、活動の中で意識したい「おきて」や「やくそく」を1つ選んで仲間に伝えるというワークを一緒に行ってみるのもよいと思います。</p>

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

マインドフルネスについて興味を持った読者の方は、下記参考文献をご参照ください。

【参考文献】 荻野淳也著『マインドフルネスが最高の人材とチームをつくる — 脳科学×導入企業のデータが証明！』（かんき出版）

スーザン・カイザー・グリーンランド著、大谷彰監訳、浅田仁子訳『マインドフル・ゲーム 60のゲームで子どもと学ぶマインドフルネス』（金剛出版）



ボーイスカウトとあそぼう!

ワクワク

自然体験

あそび



本誌2020年9月号(No.739)でもご紹介した「ボーイスカウトとあそぼう!ワクワク自然体験あそび」事業(以下、自然体験あそび事業)が、全国各地で始まっています。当初、全国717会場での開催を予定していた本事業は、各地域の協力により843会場(10月14日現在)での開催となる予定です。今号では、すでに実施した会場の取り組みを、参加した保護者の声とともにご紹介します。

自然体験あそび事業

① 文部科学省委託事業の趣旨として、新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナ)の影響による野外活動の減少や生活の不安を解消するため、自然体験活動の提供を通じて子どもたちの閉塞感を打破し、元気を取り戻して健やかな成長を図ることを目指す。

② 新型コロナの影響により停滞状況にあったスカウト活動や新規募集活動に対し、団や地区単位での募集活動を促し、全国的にボーイスカウトの露出を高め、集中的に新規加盟員の獲得を行う。

上記のとおり、本事業のねらいは、単に加盟員であるスカウトが自然体験活動を行うのではなく、地域の子どもたちにもその機会を提供し、スカウトの募集活動に繋げるところにあります。

事業の準備状況や実際の取り組みなどからわかってきたこと

■ 多くの子どもたちに参加してもらうために

一人でも多くの子どもたちに参加してもらうため、今回の事業の「募集」「告知」については、学校を通じて案内チラシを配布することをポイントにしています。

全国統一デザインのチラシには会場ごとに日時等の情報を記載し、学校を通じて対象学級の児童に配布します。また、開催情報は日本連盟の特設サイトにも掲載し、参加申し込みはオンラインでも受け付けます。

チラシとSNSどちらか一方ではなく併用することにより、今後の事業展開の際、より有効な募集手段を検証することができます。近年はイン



ターネット等の発達により、なんらかのニーズがある人がキーワードを検索してホームページ等から情報を得ることが多いと考えられる一方で、チラシは潜在的なニーズのある家庭に有効な手法といえます。特定のコミュニティ(学校)を通じて、対象児童の家庭に届けることにより、具体的な事業の機会を提供することで「考えてみる(検討する)」機会をつくることができます。

■ 地域とともに行う「子ども自然体験活動推進協議会」の設置

事業実施にあたり、都道府県単位で「子ども自然体験活動推進協議会」を設置します。この協議会は、自然体験あそび事業の計画と推進の役割を担い、地域の子どもや家庭への(特に学校を通じた)アプローチを行えるように地域行政や関係団体と協働するもので、事業実施以降も地域の関係者と協力関係を築くことがねらいです。

全国どの地域でも、行政や他団体との日常的な協力関係の構築、維持が大切です。今回のような協議会の設立は、政令指定都市がある都道府

県では、ボーイスカウト単独での依頼はなかなか難しい状況があるようです。そのような場合でも、市区町村の教育委員会や該当する学校、地域との連携を密にすることが望まれます。

具体的な取り組み紹介(新潟第9回)

【概要】

日時: 10月4日(日) 10:00 ~ 12:00

参加者: 一般児童6人、スカウト12人 ※一般児童は定員10人で募集

内容: 参加者それぞれがアルミ缶を使ったご飯の炊き方を体験することで、身近な物でご飯を炊く方法を学び、体験共有を図った。

持ち物: マスク(コロナ対策用) ※参加費無料

参加児童の保護者コメント

- ▶ 外出できない日々が続いたので、新しい経験をさせようと思い参加を決めた。両親ともにこういった活動には無縁だったので新鮮だと感じた。実際にボーイスカウト活動の様子を見ると団結力やチームワークを感じた。子どもたち一人ひとり活発で、意思をもって取り組んでいるのだと感じることができた。(小3男児 母)
- ▶ もともと家族でキャンプなどをすることが多く、野外活動が好きだった。学校で配布されたチラシを持って帰ってきて、息子が「行きたい」と自ら言ってきたので新型コロナのことはあまり考えなかった。実際に活動してみると、子どもでもできる簡単な内容で楽しかった。やっぱり制服がカッコイイなあと思った。自分も幼いときにカッコイイなあと思っていたので息子も思っているのでは。(小1男児 父)
- ▶ 実際に参加してみても楽しかった。息子のクラスにビーバースカウトの子がいて、そのお母さんがクラスのLINEで募集していた。新型コロナの影響で「集中力が低下した」と息子の習い事の先生に言われ、家でもゲームばかりなので、外での活動が良い機会になるかなと思い参加を決めた。また、下の子が3歳で、お兄ちゃんに関われる時間も少なかったので楽しい経験になると思った。実際、缶切りやマッチなど初めての経験になったので良かったと思う。こうしてボーイスカウトの子どもたちを見ると、楽しそうで仲間意識があって良かった。夫も小さいときにカブスカウトだったらいいので、その雰囲気を実感できて良かったと感じる。(小2男児 母)
- ▶ 野外活動の経験をさせたくて参加を決めた。今回の活動がお米を炊くことだったので、災害時に役に立つかなということも考えた。小学校のクラスLINEグループで募集が来てこの事業を知った。実際体験してみて、難しかったけど楽しかった。子どもたちもまたやってみたくて話していた。ボーイスカウトは協調性が身につくのかなと感じた。隊長が話し始めるとみんな黙って聞いていたし、集団で何かするということが、自分の子どもたちにはあまり経験がないので、集団でなにかやらせてみたいと思った。(小2女児・小4男児 母)



スカウトの保護者コメント

今まで、外で体を動かすことは当たり前だったので、今回の活動の参加に対して抵抗はなかった。新型コロナの状況が変わるたびに団委員長と会議をして相談していたので、今回の開催について戸惑いなどはなく、親子とも、意欲的に参加を決めることができた。

実施担当者のコメント

加盟員が通う小学校でのチラシ配布や、スカウトの保護者が募集の声をしてくれたことで、ボーイスカウトに興味のある参加者が集まった。今回の活動は、地域貢献にもなったと感じている。事前に団として新型コロナ対策について協議を重ねていたため、短い準備期間だったが、本事業をスムーズに展開できたことも大きな成果だった。また、昨年発団した新潟大学ローバスカウト隊(新潟第19回)も応援に駆けつけてくれ、感謝している。

開催会場も増え、これから、全国各地でさらに活発に事業が展開されていく予定です。

日本連盟の特設サイトでは、日程等が確定した会場の開催予定を順次掲載しており、ここからも募集のためのヒントを得ることができます。

例えば、参加者の視点で考えたとき、複数の開催情報を得ることができれば、チラシで案内された日と予定があわなくても他の日に参加するという選択肢が広がります。

これをヒントに、「体験集会」とうたわずとも各団で普段の集会の実施情報を地域に周知することで、体験できる日程がたくさんあることを知ってもらい、「参加者が体験したい」ときにその期待に応えられるのではないのでしょうか。

また、他の会場の開催内容を見ることも、各団での体験集会企画のヒントになるかもしれません。



自然体験あそび事業の開催情報は特設サイトをご覧ください。

<https://www.scout.or.jp/wakuwaku2020/>



スカウティングとSDGs

— 一緒に考えよう！ 持続可能な社会のために —

持続可能な開発目標 (SDGs) は、「leave no one behind (地球上の誰一人として取り残さないこと)」を目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき 17 の目標と具体的な取り組みである 169 のターゲットで構成されています。

今号では、世界スカウト機構 (WOSM) が新たに開発した環境教育プログラム「Earth Tribe」から 2 つの目標についてご紹介します。

新環境教育プログラム

Earth Tribe (アーストライブ)

WOSM は、世界共通プログラムの開発、実施、評価を行い、約 10 年のサイクルでプログラムの見直しを行っています。今回新しく開発された「Earth Tribe」では、取り組みに対して関連する SDGs の達成目標が明確に示されているのが特徴です。

日本でも 2012 年から導入している世界スカウト環境バッジですが、「環境保護」のほかに「再生エネルギー」「プラスチック汚染」という 2 つの要素を加えて、より広く環境について考え、行動することにつながるプログラムへとリニューアルされました。

<https://www.scout.or.jp/member/earthtribe/>



earthtribe®

現在、プログラムの導入に向けた翻訳作業や関連団体とのプログラムの協働のほか、進級課目やチャレンジ章、技能章などの選択課目の読み替えの準備を進めており、今後、スカウトの地域環境や興味関心に応じて取り組む内容を選択して行動するきっかけになるプログラムを提供していく予定です。

個別の目標から考えよう

目標 06

「安全な水とトイレを世界中に」



日本では水が豊富ですが、水道の蛇口をひねっておいしい水を飲むことができる国は世界にそれほど多くはありません。国連のレポート (2015 年) によると、当時の世界人口 73 億人のうち約 9% にあたる 6.6 億人が安全な飲み水を確保できない状況にあるとされています。

地球には、水に関連する生態系 (山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼など) が多くあり、これらの保護や回復を行うと同時に、共存していくことが求められます。すべての人が下水やゴミ処理などの衛生設備が整った環境で暮らせること、水の再利用に取り組むことで安全な水や衛生環境の確保や管理をすることが目標です。

目標 07

「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」



日本のエネルギー自給率は 9.6% (2018 年) で世界 34 位と、その水準は決して高くありません。地熱、風力、太陽光などを使った再生エネルギーの活用も進んでいます。安定して利用するには企業や個々の家庭

が利用しやすい環境を整える必要があります。

従来のエネルギーのもとである化石燃料が生活を快適にする一方で、燃焼することで発生する二酸化炭素 (CO₂) は地球温暖化の要因になります。

便利な社会に欠かすことができないエネルギーを確保するとき、どのように環境に配慮したらよいか、自分たちに何ができるのかを考え、行動していくことが求められています。

活動で
取り組んでみよう
全部門

私たちの生活を便利にするものについて、何がどれだけ欠かせないか、別のものに置き換えることはできないか、置き換えることでどのように地球環境への影響を減らすことができるのかなどを考えてみましょう。

例 ペットボトル、レジ袋、食品用ラップフィルム、電気、ガス など

ここで大切なことは、単に「使わない」という選択肢を選ばないことです。生活を便利にするものを一概に使わなくするのではなく、「代わりに使えるものはないか、こうしたら解決できるのではないか」ということを考えることがポイントです。

■ 関連するチャレンジ章に挑戦しよう



自然保護: 細目 (3-①) に関連付けて、自分たちの地域のゴミ拾いや環境美化活動を行う。

自然保護: 細目 (3-③) の自然環境調査に参加するか、自分で人に聞いたり、調べてみる。

■ 関連する技能章に挑戦しよう



環境保護: 細目 (2) に関連付けて、大気・水・土壌についての汚染問題について調べる。

環境保護: 細目 (4) に関連付けて、地球環境に影響を与える有害物質を減らす対策を提案する。

2020年度 スカウトの日

地球大好き! I Love the Earth.

日程 9月21日(月・祝)

テーマ 地球大好き! I Love the Earth.

活動場所 全国各地

後援 文部科学省、厚生労働省、環境省

協賛 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

今年も9月第3月曜日(敬老の日)を中心に、「スカウトの日」として全国各地でさまざまな活動が実施され、各団から活動報告が届きました。

例年同様、環境保全や環境美化の活動に取り組む団が多く、その中でも、今年度の活動資料「SDGs 発見ノート」を活用して、道路や駅、公園、神社といった普段の活動場所周辺で生活ゴミを拾いながら環境について学んだという報告が多数寄せられました。

このほか、川岸や海岸などに流れ着いた漂流物の回収活動や道路標識や郵便ポ

ストを磨くなどの清掃活動、老人ホームへの慰問活動、地域の秋祭りでの奉仕活動、環境をテーマにしたハイキングなど、多岐にわたる活動が行われました。

全国各地で実施された「スカウトの日」の活動報告は、日本連盟ホームページからご覧いただくことができます。今年度より、内容ごとに集約して活動の様子をご覧いただけるようにしましたので、各地で展開されたさまざまな活動を参考に、日ごろの活動や生活の場で自分たちにできることを考え、行動に移していきましょう。



2020年度活動資料 SDGs 発見ノート

事前に参加登録(活動資料希望)した団には、活動資料として、SDGsをテーマにした教材「SDGs 発見ノート」を提供しました。

SDGsは2030年までに目標を達成することが掲げられており、今年はその目標達成に向けて行動に移すための10年がスタートした年であることから、スカウト活動が国際目標であるSDGsとどのように関連しているのかを事例やクイズなどで紹介しています。

また、このノートには、実施した活動や取り組みから得たことや思ったこと、「自分自身がどのように行動していくか」の宣言を書くスペースがあり、一人ひとりが環境課題を他人事にせず、積極的に考えるきっかけを作れるようにしています。

「SDGs 発見ノート」はWebからダウンロードできますので、活動資料の提供を受けない団も、普段の活動でぜひ活用ください。



活動資料「SDGs 発見ノート」や各団の活動報告は、日本連盟ホームページからご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/scoutday-2020/>





第46回 少年の部入選「目指せプロカメラマン」

第48回 全国ボーイスカウト 写真コンテスト 作品募集

全国ボーイスカウト写真コンテストは、48回目の開催になります。

スカウトは自分の好きなモノや「いいな」と思った瞬間を撮影して、チャレンジ章「写真博士」や技能章「写真章」に挑戦してみましょう。また、指導者はスカウトが仲間と一緒に活動を楽しんでいる様子などを活動記録として残すだけでなく、コンテストに応募しませんか？

2020年は新型コロナウイルスの影響を大きく受けたスカウト活動ですが、そのような困難な状況下で工夫して行った活動や、活動できる喜びを感じて楽しむスカウトの笑顔など、今年度ならではの様子も含め、魅力あふれる活動の写真をぜひご応募ください。

あなたの撮影した1枚が、ボーイスカウトの魅力を伝えるPR素材としてさまざまな場面で使用されるかもしれません。たくさんのご応募、お待ちしております。

テーマ: ボーイスカウト

サブテーマ: 「笑顔」「野外活動」「友情」

※少年の部はテーマ自由

- 部門 「少年の部」撮影者が中学生以下
「青年成人の部」撮影者が高校生以上
- サイズ サービス判以上四つ切り以下
- 審査委員長 田沼 武能氏（写真家）
- 主催 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
- 締切 2021年2月28日（日）当日消印有効
- 発表 本誌2021年5月号に掲載予定（入賞者には直接通知します）
- 応募方法 写真の裏に応募用紙を貼って郵送してください。応募用紙は日本連盟のホームページからも取得可能です。
※用紙に記載すべき項目がすべて記載されていれば、別の用紙（手書き）でも構いません。
- 応募上の注意
 - ・ 応募は本人が撮影した作品に限ります。必ず、撮影者本人の年齢に応じた部門へご応募ください。
※他者（保護者や指導者など）が撮影したと思われる作品が、スカウト名義で「少年の部」に応募されていることが見受けられます。審査対象とみなせない場合もありますので、コンテストの意義をご理解いただき、正しくご応募ください。
 - ・ 応募用紙への記載や発送も、できる限り撮影者本人が行ってください（発送については、隊で指導者がとりまとめても構いません）。コメント漏れなどが見受けられることもあります。応募の際は、記載内容に不備がないか確認してお送りください。
 - ・ 入賞者には、写真データの提供を別途依頼しますので、応募用紙には連絡のつくメールアドレスを正しく（読みやすく）記載してください。なお、スカウト本人がメールアドレスを持たない場合などは、保護者等の連絡先を記載するなど、柔軟にご対応ください。
 - ・ 応募作品は、2020年1月以降に撮影した未発表のものが対象です。肖像権を有する人物および建築物などが写っている場合は、応募に際し、権利者（未成年の場合はその保護者）の了承を得てください。
 - ・ 応募作品は返却しません。
 - ・ 応募作品は、入賞発表のほかに日本連盟の印刷物等に使用することがあります。
 - ・ 応募作品の著作権は主催者に帰属します。

全国ボーイスカウト写真コンテスト		応募部門	少年の部・青年成人の部	
タイトル				
(フリガナ)	年齢	住所 〒	都道府県	市区郡
名前	歳			
連絡先	電話番号	メールアドレス		
作品についてのコメント				
ボーイスカウト加盟員は記入				
登録番号:	所属:	第	団	隊 役務
<input type="checkbox"/> APR コンテストにも応募を希望する場合は✓をしてください。				
R1.11~				



応募に関する詳細情報は日本連盟ホームページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/48thphotocontest/>

報告 RCJフォーラム2020

- 会 期:** 9月20日(日)および21日(月・祝)2日間
方 法: オンライン開催 (Zoom および Miro を使用)
参 加 者: 28県連盟 109人 (運営委員 7人含む)
テ ー マ: 「REMOVE THE LIMIT ~なりたい自分に向かって~」
目 的: 参加者が話し合いや交流を通じて、より良き社会人に繋がる豊かなスカウティングを見つける契機とする



愛知・春日井第2団 ローバースカウト
佐藤 優真さんによる作品

昨年、台風直撃によりやむなく開催を延期した RCJ フォーラム。リベンジ開催の今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初のオンライン開催となりました。

参加者は2日間の討議や交流を通じてスカウト活動に対する視野を広げ、フォーラムで得たことを今後の活動で活かす方法を考える機会としました。

■ 討議プログラム

事前アンケートの結果を基に5人程度でグループング。各グループ、参加者の1人が進行役を担い、事前説明会の参加から当日の討議進行まで、プログラムを円滑に進めるための協力体制を整えました。また、今回の討議では、事前配付したワークシートのほか、オンラインホワイトボードツール「Miro」を活用して意見交換を行いました。



グループ討議

討議トピックに関する知識や経験を有する方の基調講演を通じて、トピックに対して視野を広くもつことから始め、理想像や課題、解決策を考察し、その後、他グループとも共有する時間を設けて、新しい視点や知識を取り入れる機会としました。

個人ワーク

グループ討議の内容を踏まえ、参加者個人の課題、採択文、アクションプランを策定しました。グループのメンバーからフィードバックしてもらうことで、自身考える採択文やアクションプランをブラッシュアップし、今後の活動に活かすための成果物をまとめました。

討議トピック

- 新しいローバーコミュニティを作ろう!
- ローバーコミュニティを盛り上げよう!
- ローバリング × 指導者活動
- スカウト事業を成功させる鍵とは?
- SCOUT ONLINE ~これからのスタンダード~
- ローバーで考えよう! 未来のBVS、CS、BS、VSの活動!
- 広報を通じてスカウティングの魅力を伝えよう!
- とびだせ、海外のスカウティング!
- 現代社会におけるスカウティング(ローバリング)とは?
- スカウティングの強みを他のコミュニティに展開しよう!
- スカウト人口の減少をくい止めろ!
- ローバースカウトにおけるプロジェクトを活性化させろ!



■ 交流プログラム

全国事業の醍醐味のひとつである“参加者同士の交流”。討議プログラムのグループメンバー以外の参加者とも交流をもつために、2日間とも交流の時間を設けました。RCJ ブロック代表をはじめ、参加者の協力により、大いに盛り上がりしました。



■ 委員長総評

委員長 戸谷 明寛 (大阪連盟)

さまざまな想いを抱いて参加してくださった100人を超える参加者と共に、2日間のプログラムを無事終えることができました。

参加者一人ひとりが掲げた今後の行動指針となる目指すべき姿や、その実現に向けたアクションプランなどの成果物、さらに、各プログラムでの参加者の様子を見てみると、事業のねらいに資する場を提供できたのではないかと感じています。参加された皆さんは、本事業に参加することでしか得られなかったことを活かして、それぞれが目指すべき姿に向かって行動していくことでしょう。

昨年台風で開催できなかった RCJ フォーラム 2019 のリベンジとして、2020年の開催となりました。開催にあたってはさまざまな困難があり、特に今までにない社会変化の中で、初のオンラインでの開催ではありましたが、運営委員をはじめ、多くの方々のご協力により無事に開催することができました。本事業に関わってくださった皆様、誠にありがとうございました。

[報告: RCJフォーラム2020運営委員会]

日本 ◆和歌山大学にローバースカウト隊 発隊

日本連盟 団支援・組織拡充委員長 木村 寿宏

本年度の事業計画に「大学ローバースカウト隊の発隊促進」を掲げていますが、8月8日に全国で30番目の大学ローバースカウト隊として和歌山第24団(和歌山大学)が誕生しました。当委員会所管の「組織拡充モデル県連盟」に指定した和歌山連盟で、実に35年ぶりの新団発足です。

新団発足のきっかけは、和歌山大学に通う一人のスカウト(他県連盟所属)の「和歌山でも、スカウティングをしたい」という熱い想いでした。スカウトのネットワークでこの情報を入手した県連盟関係者がすぐにそのスカウトと接触し、発団に向けての支援を約束して動き出し、仙石理事長(和歌山連盟)自らが団委員長に、隊長は和歌山地区の山口副コミッショナーを予定するなど、県連盟一丸となって万全の支援体制を組みました。一方で、き

っかけを作ったスカウトも6人の友人を誘い、和歌山大学の彦次准教授に育成会長を依頼するなど、熱意をもって発団の準備を重ねてきました。

今回の発団は、仙石理事長の「県内に大学ローバーを発隊させる」という固い信念と、スカウトの「大学の先生や仲間を巻き込む」という素晴らしい行動力がマッチした、まさに好事例といえます。

大学ローバースカウト隊の発隊は、日本連盟として重要な課題のひとつでもあり、県連盟のニーズも高いものと考えています。今後、この好事例を全国で展開できるよう、当委員会としても和歌山連盟の力もお借りしながら推進してまいりたいと考えています。

発隊式後、記念キャンプに向かうスカウトの笑顔はとても素敵でした。最後に、この笑

顔のために大変なご尽力をいただいた山本連盟長をはじめとする和歌山連盟関係者の皆様には、心より感謝を申し上げます。



ローカルホットライン

Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

富山 □新聞に掲載されました

氷見第2団 ポーイ隊長 東海 直樹

北日本新聞 (2020.8.10)



▲泉会長(手前中央)から蛇が島の自然や歴史について説明を受けるスカウトの子どもたち

氷見 ポーイスカウト連盟氷見第2団(竹本前証団委員長)は9日、氷見市の県指定名勝・天然記念物、蛇が島で自然観察とごみ回収を行い、島の貴重な動植物に理解を深めた。蛇が島は同市委任約1km²にある富山湾最大の島。寒い地域と暖かい地域の植物が混在し、ウミウシの新種も見つかっている。自然観察は13数年、毎年行っており、スカウトの子どもと大人計約30人が参加した。地元の女良公民館・清水孝則館長が協力し、大境漁港から船で島へ渡った。高岡生物研究会の泉治夫会長(77)が蛇が島は、マツが

蛇が島生き物いっぱい

多い女島(西側)とタノキが多い男島(東側)から成り立っていることを紹介。高岡城(現・高岡古城公園)を築城するため石を切り出した痕跡を示し、歴史的な価値にも触れた。

研究会のメンバーがウミウシやアメフラシ、ウニ、テングサなどを採取して、子どもたちに観察してもらった。西塚純望さん(6)は「海の生き物は魚しか知らなかった。ウミウシを触るとぶにぶにして面白かった」と話した。市自然保護員協議会の関一朗会長(62)も同行した。岩場で水遊びを楽しみ、ペットボトルや発泡スチロール、スパイクタイヤなどを島に打ち上げられたごみを回収した。

静岡 □地区で初の快挙「チャレンジ章全制覇」

伊東第5団 カブ隊長 渡辺 吉郎

スカウトたちに「チャレンジ章を全部取るように頑張ろう」と言い続けて10年以上。ついに全て制覇したスカウトが誕生しました。企業とのコラボによる「新チャレンジ章」も6つ取得し、あとひとつに挑戦中。

今回全制覇したスカウトは1組の組長なの

で、組員や2組のスカウトにも良い刺激になっています。「スカウトの日」の団活動(松川清掃)で、ビーバーからベンチャーまで全員集合した際、その頑張りを紹介しました。

また地元新聞社とテレビ局からも取材があり、伊豆新聞の一面にカラーで掲載されました。



岐阜 ■ 新聞に掲載されました

岐阜第11団 団委員長 高橋 晴美

1969年に発団し、51年の歴史を誇る岐阜第11団は、今も50年前と変わらず「スカウティング・フォア・ボーイズ」の理念と実践の活動内容で団運営を続けており、ス

カウトたちは「たくましく生きる力」や社会奉仕の喜び、仲間と心を通じあわせて協力する喜びを味わっています。



ボイススカウトが岐阜市で清掃活動
岐阜市黒野に本部を置くボイススカウト岐阜第11団カパ隊が6日、黒野地区を歩いて清掃活動を行った。参加者は、町を美しくしようと汗を流した。

子どもたちの社会奉仕の精神を育もうと毎年実施しており、小学生の団員と保護者ら約40人が参加した。団員らは地元的光順寺を出発し、道路脇や板屋川の堤防に落ちていた空き缶やペットボトル、紙くずを拾った。約1時間半歩き、10袋分のゴミを集めた。

黒野小5年の諏訪右京君(10)は「自分が住む町をきれいでできてよかった」と笑顔で話した。

(大飼剛久)

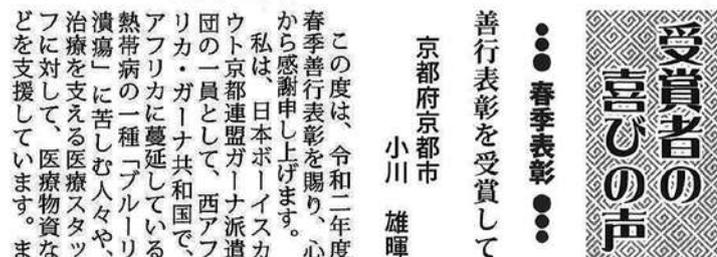
清掃活動に汗を流す団員ら＝岐阜市黒野南

岐阜新聞 (2020.9.8)

京都 ■ 国際貢献による善行表彰を受賞

京都連盟 事務局長 浅川 栄治郎

京都連盟が実施しているガーナ派遣や日本連盟が主催しているオーストラリア派遣の実績により、当連盟のスカウトが日本善行会「国際貢献」による表彰を受けました。



受賞者の喜びの声

●●● 春季表彰 ●●●

善行表彰を受賞して

京都府京都市 小川 雄暉

この度は、令和二年度春季善行表彰を賜り、心から感謝申し上げます。私は、日本ボイススカウト京都連盟ガーナ派遣団の一員として、西アフリカ・ガーナ共和国で、アフリカに蔓延している熱帯病の一種「ブルリリ潰瘍」に苦しむ人々や、治療を支える医療スタッフに対して、医療物資などを支援しています。ま



た、将来を担う小学生に対して、文房具を寄付したり、啓発ポスターを学校に掲示したりもしています。日本では、ボイススカウト全国大会に参加して、この病気に多くの子どもたちが感染して困っていることを周知しています。私は、この派遣に第一回から継続して関わっており、この派遣に第一回から継続して関わっており、派遣の中核を担っています。

また、二〇一九年一月から二〇二〇年一月にかけてのオーストラリア派遣では、派遣中に大規模な森林火災が発生していました。現地スカウトと共に森林火災について考え、日本に帰国後も支援を行っていました。今後は、支援を継続するだけでなく、現地のニーズに合わせた新たな支援にも取り組みたいです。考えております。

明るいニュース (2020.7.1 一般社団法人日本善行会発行)

信仰奨励

新型コロナ禍の心のケア

信仰奨励委員会 町田 正照

新型コロナ禍、指導者の皆さんも活動に苦勞されているのではないのでしょうか？

集会が計画どおりに進められない、感染予防対策、スカウトの体調を心配する等、指導者としてのストレスを抱えておられるのではないかと思います。

スカウトたちも同じで、学校での生活や放課後の過ごし方が変わりましたし、何より楽しみにしていた舎営やキャンプができなかったり、密になるゲームはできなかったりと、今までとは違う世界の中での戸惑いなど、ストレスを抱えているのではないのでしょうか？

そんなスカウトたちへの心のケアも、指導者の大切な役目だと思います。スカウトたちが集会を楽しみに集まって隊の仲間と会うことや、ゲームなどを通じて元気に楽しく活動してストレスの発散ができることが理想です。

このようなときこそ、信仰が心の支えになります。スカウトの年代によっては伝わりにくいかもかもしれませんが、明確な信仰をもつ指導者の言葉は、どの年代であれ、必ずスカウトの心に響くものと信じています。ぜひ指導者自身が明確な信仰をもたれることを願います。

スカウトタウン・サービスなどで、色々なことをスカウトに話してあげてください。

教育規程の一般原則では「スカウトタウン・サービスは、本運動に参加する者各自の信仰心を高揚するために行われ、それは『ちかい』と『おきて』の実践をより深めるものである。」とされています。スカウトタウン・サービスを活用し、「ちかい」と「おきて」の実践をより深めていきましょう。

B-Pのことば

- 困難は、一度笑い飛ばしてしまえば、もはや困難ではなくなる。そうやって取り組みなさい。
- 微笑みは、あなたをより幸福にし、また、あなたの微笑みを見て他の人も幸福になる。誰か知らない人に話しかけなければならないとき、たとえ、それが道を探るだけだとしても、微笑みを浮かべていれば、きっとその人はあなたに親しみをもつだろう。

スカウト運動への 財政面でのご支援 誠にありがとうございます ございます!



スカウト運動の支援には「人」「物」「財政」の3つの面があり、維持会員として財政面でのご支援をいただくことは、スカウト運動の維持や発展において大変重要な役割を担っています。

日本連盟では、青少年の健全育成のための事業を実施していますが、これらの事業を推進していくためには、皆さまからのご支援が不可欠です。

多くの個人・法人・団体の皆さまに維持会員としてご支援いただいておりますが、引き続きスカウト運動への財政面でのご支援とご協力をよろしく願っています。

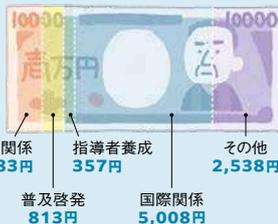
皆さまからのご厚志は

- ジャンボリー、アグーナリー（障がいのあるスカウト等の大会）等の各種大会の開催
- 国際社会で活躍し、貢献できる人材育成のためのプログラム開発や国際交流事業の実施
- 野外教育活動の幅広い展開のための野営場や研修宿泊施設の整備
- ボランティア指導者の育成強化等に活用しています。

10,000円の内に置き換えると

（図は2019年度決算に基づく例）

※2019年度は「第24回世界スカウトジャンボリー」派遣があったため、国際関係の割合が多くなっています。



マンスリーサポート（継続的支援）

月々1,000円から支援が可能です

クレジットカードによる毎月定額での寄付を導入して

います。郵便振替などでご支援いただいていた方も、クレジットカードでの寄付に切り替えが可能です。

※個人の寄付に限ります。※ご利用いただけるカードはVISA、MASTER、JCB、AMEX、DINERSです。

維持会員の方には

- 入会された方には会員章（襟章）をお贈りします（法人の場合は会員証）。

通常維持会員	年額 1万円より
特別維持会員	年額 10万円より
法人維持会員	年額 10万円より

- 継続して維持会費を納入いただいた方には、所定の年数に応じて「維持会員年功章（胸章）」をお贈りします（非加盟員の方はメダル）。

お申し込み・お問い合わせ

日本連盟ホームページをご確認ください。

<http://www.scout.or.jp/support/>

日本連盟事務局 社会連携・広報部

TEL: 03-6913-6262

Eメール: hello@scout.or.jp



維持会員（敬称略）

スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の方です。

ご支援ありがとうございます

2020年 7～8月 度

【北海道】

三浦 武
北 秀
市場 尚
経森 延等
徳永 教
榎本 賢
寺迫 公
B S 千歳 1
B S 苫小牧 2
北見BS育成会

【青森】

黒澤 憲一郎
入間 正智
根岸 英樹
和田 有等
【岩手】
奥田 耕一
熊谷 徹哉
千田 庄寿
嶋 弘義
山崎 義勝
高橋 春生
金田 弘子
佐々木 齊
諏訪 神
（株）建設
菱和建設（株）
（株）東自動車工業
（株）岩手銀行
東北アルフレック（株）

【宮城】

佐藤 元通
和田 岑生
横澤 繁久
佐藤 善久
芳賀 文蔵
橋浦 寛
荒井 嘉光
（株）ごんきや

【秋田】

安田 孝司
糸屋 幸隆
藤原 幸久
大河内 幸久
小場 文明
千葉 高昭
山本 利昭
熊谷 正敬
東海林 正雄
北林 正規
渡部 訓之
（株）秋田クボタ
（株）キムラ鋼板

【山形】

大沼 保義
佐藤 憲義
山形 放送（株）
【福島】
工藤 信人
村上 正人
西 徹

【茨城】

佐野 英樹
戸舘 善敬
青木 正志
久保 勝男
石塚 勝夫
若生 悦男
横川 浩枝
鈴木 君枝
菅原 英幸
吉田 誠
生田 元典
喜作 嶋田洋匡
関彰 商事（株）

【栃木】

中臣 正範
新井 政一郎
源田 俊昭
石川 秀忠
櫻井 政義
立正会 鹿沼教会

【群馬】

新井 三知夫
萩原 修音
小松 俊一
國 武
松津 保雄
碓井 健文
市川 文宏
久保田 順一
荻原 幸雄

【埼玉】

岡田 良一
小高 昌郎
高橋 親豊
藤倉 幸親
登坂 重豊
亀井 重賢
高橋 義哲
中村 澄子
島田 重宗
相川 宗夫
川島 英正
堀江 誠一
石川 巖

木村 照男

松平 義継
板谷 喜代子
坂本 裕夫
金子 俊介
樋渡 秀重
菊池 清和
栗原 政子
石山 貴宣
岩田 政宏
高橋 健一
小川 君夫
小林 真進
佐藤 いたま
BS行田 1
BS越谷 10
BSさいたま 212
BS上尾 9
BS飯能 3
BS狭山 2
BSさいたま9育成会
BSさいたま10育成会
毎日興業（株）
（株）昭和製作所
守光院 木村正幸
（株）水川稲神社新倉

【神奈川】

針谷 誠一
白井 正治
高橋 雅彦
山本 恒行
小林 隆之
宇治 隆雄
中村 光伸
井上 美恵
佐藤 耕一
小鷹 順一
森 真紀
B S 市原 1
BS松戸8育成会
（株）市川学園
ユアサモビリティサービス（株）
仲戸川 勲
葉袋 豊夫
矢島 巖
山田 慶
根岸 進一
鈴木 令子
水野 明公
渡部 智利
田中 利智
太田 俊男
関戸 延義
佐藤 忠義
井上 康雄
小野 彦彦
作田 豊清
小島 清
足利 靖弘
濱田 弘一
松蔭 雅一
高橋 一夫
藤重 敏明
岡竹 直玄
吉川 純一
伊藤 健三
坂本 健勉
太田 欣司
藤本 伸夫
寺口 友喜
石窪 章
下屋 光
正昭 和朗
中川 敏彦
京増 寿宏
木村 明彦
近藤 正彰
足立 正裕
前川 裕水

【東京】

椎野 芳行
大久保 哲雄
黒岩 達夫
落合 友幸
彦井 文男
上野 晋一郎
中村 俊雄
B S 秦野 2
BS横浜 131
BS横浜 43
BS川崎 54
BS横浜 65
BS川崎 43
BS相模原 7
BS横浜 61
BS伊勢原 1
BS横浜 79
BS相模原 10
（株）ハセガワ
長谷川 洋一
（株）ホンマ電機
（株）古川工業
（株）マルカメ
【山梨】
山岸 一芳
藤原 進努
渡辺 恵一
小倉 雅弘
新野 潤樹
野田 亜樹
榎本 亜樹
【東京】
淳志 志
平林 紀夫
田尻 直記
今津 直記
原 秀子
堀 俊之
岡本 圭一
田辺 隆一
津守 勝男
津 眞人
鈴木 眞人
荒井 健
松本 美勝
才郷 正次
船橋 眞一郎
安野 哲子
粕谷 弥太郎
小山 正芳
倉持 和朗
塚原 勝一
中澤 征身
高田 真澄
杉野 健一郎
北爪 太吉
岡村 費
青木 弘子
守安 信介

【大阪】

松原 秀典
鈴木 秀男
清水 正行
近藤 信邦
久米 邦奈
岡村 奈夫
本村 善守
松下 智博
松天 達行
今井 正行
井上 治郎
谷道 龍彦
萩原 泰昇
手塚 嘉次
栗山 和幸
菅原 欽行
大石 和夫
中山 道博
衣笠 武憲
横田 潮
大森 和英
松平 克夫
花島 利夫
久保田 康弘
岡田 勇次
阿部 達夫
黒竹 隆一
井居 達一
大野 久二
齋藤 秀彦
藤黒 茂彦
山並 千春
重信 一八
栗芝 一八
田口 美恵子
永井 敏
大坪 邦雄
今泉 哲也
小村 郁夫
小林 宏
高橋 宏世
貝津 晴信
久保田 温子
山 眞樹
島崎 龍夫
B S 品川 6
B S 品川 6
B S 品川 3
B S 品川 8
B S 品川 4
B S 品川 6
B S 江戸 1
B S 渋谷 9
B S 台東 4
B S 荒川 6

【京都】

B S 西東京 2
B S 町田 16
B S 台東 2
B S 足立 4
B S 武蔵野 4
さくら地区
スクウトクラブ
大多摩クラブ代表
山崎常雄
華厳院 矢田融海
町田デザイン専門学校
（株）立川井上商店
湯島天満宮
（株）平野屋金物店
（株）三ノ輪建設
（株）ジーンエクス
（株）ルースール
渋谷 商工（株）
【新潟】
黒田 玲
高橋 剛
遠藤 安一
金澤 理久夫
樋口 栄治
本間 守
井上 法英
三浦 伸一
藤塚 大造
南雲 重孝
尾崎 淳一
清水 修
長谷川 圭介
杉山 剛
本間 清
米山 信
平田 則行
伊藤 聡
五十嵐 睦雄
山口 明
吉田 至夫
岩井会計事務所
岩井和夫
新潟県神社庁
（株）弥神神社
朝日酒造（株）
（株）慶仁会
亀田第一病院
（株）新潟コボタ
（株）タカヨシ
新潟駐車場（株）
第一建設工業（株）
（株）ブルボン
ナミックス（株）
テック海発（株）
石本金属（株）
（株）七里商店
（株）アドグラフィック新潟
麒麟山酒造（株）
新潟総合警備保障（株）

【石川】

森田 久信
改田 秀一
若杉 幸平
池田 壽男
水野 四郎
高村 昌克
馳川 尚基
矢敷 雄一
中西 祐一
桂 章（株）
【福井】
吉岡 幸一
古市 謙三
田中 廣昌
籠 義則
西 光
畑 光広
植田 命寧
齊川 忠男
山縣 年博
細川 式部
高見 和宏
吉田 知弘
【長野】
丸山 正一
丸山 元昭
西田 不折
丸山 輝子
山崎 康生
青木 秀樹
青木 桂子
林 一男
松本 捷幸
村田 富士雄
藤川 育宏
矢口 恒善
中村 紘明
河西 明
出田 京子
B S 茅野 1
B S 富士見 1
BS松本6育成会
（株）東郷堂
【岐阜】
太田 晃
小寺 兼勇
川田 基弘
広瀬 之彦
板津 敏夫
安田 勝理
鈴木 理

【富山】

BS富山県連盟
川田ニット（株）
【石川】
久信 秀一
幸平 幸平
壽男 壽男
四郎 四郎
昌克 昌克
尚基 尚基
雄一 雄一
祐一 祐一
章（株） 章（株）
【福井】
幸一 幸一
謙三 謙三
廣昌 廣昌
義則 義則
光 光
光広 光広
命寧 命寧
忠男 忠男
年博 年博
式部 式部
和宏 和宏
知弘 知弘
【長野】
正一 正一
元昭 元昭
不折 不折
輝子 輝子
康生 康生
秀樹 秀樹
桂子 桂子
一男 一男
捷幸 捷幸
富士雄 富士雄
育宏 育宏
恒善 恒善
紘明 紘明
明 明
京子 京子
茅野 1 茅野 1
富士見 1 富士見 1
BS松本6育成会
（株）東郷堂
【岐阜】
晃 晃
兼勇 兼勇
基弘 基弘
之彦 之彦
敏夫 敏夫
勝理 勝理
鈴木 理

【静岡】

大橋 光男
大須賀 和美
田中 清司
土山 和雅
瀧島 金吾
柴田 尚明
松本 俊信
田代 隆昭
藤村 敏春
木村 清治
大川 靖夫
岡本 克己
齋藤 斗志二
藤田 和夫
川島 一郎
杉山 盛雄
吉川 雄二
松田 怡男
富田 三代治
脇坂 茂博
脇坂 武博
小田 透
林 通児
永小長井 由雄
杉山 満
田辺 信宏

12月は「寄付月間」

「寄付」と聞いて、どのようなことをイメージされますか。私たちが最も多く行っている寄付関連の活動は「街頭募金の呼びかけ」ではないでしょうか。

今年は新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）の影響により、駅などの屋外で募金を呼びかける活動を実施しにくい状況が続いています。いつもとは異なる方法で取り組めることはないか、「寄付月間（Giving December）※」のキャンペーン期間である12月に向けて、今一度考える機会にしてみましょう。

欲しい未来へ、
寄付を贈ろう。



日本における寄付の現状

日本では、古くから寄付によって橋や寺、学校などが建てられたり、道路の整備などが行われています。

とはいえ、「寄付白書 2017（2016年調べ）」によると、寄付文化が盛んなアメリカでは個人寄付総額が約30兆6,664億円、平均額1,155ドル（1ドル110円換算で127,050円）なのに対し、日本の個人寄付総額は約7,756億円、平均額27,017円。このことから、日本における寄付文化がいかに発展途上にあるのかがよく分かります。

しかしながら、2009年に34%だった個人の寄付率は、2011年の東日本大震災後には一時70%近くまで増加し、2012年は46.7%、2014年は43.6%、2016年には45.4%と、震災前と比べて10%ほど増加した状態が続いています。

また、内閣府の調査では、「社会のために役に立ちたい」と思う人とそ

う思わない人は、いわゆるバブル期（昭和の終わり）には半々程度でしたが、平成以降「役に立ちたい」と考える人が増え、令和時代に入ってから約7割の人が「役に立ちたい」と考えています。これらは、現代の日本人が、身近なことから世界規模の問題に至るまでさまざまなことに興味を寄せ、「社会の役に立ちたい」という意志を恒常的に形にしている結果だと考えられます。

さらに近年は、「クラウドファンディング」や「ふるさと納税」「ポイント寄付」などの新たな寄付の形も増え、「遺贈」に注目が集まるなど、以前に比べて少しずつ「寄付」が身近なものになってきました。

今年は特に新型コロナの影響で、社会の役に立ちたくてもなかなか外でボランティアができないこともあり、「自宅でできる社会貢献＝寄付」の考えから、多くのプロジェクトに寄付が集まっているようです。

いま、あなたの支援を必要としているスカウトがいます。

日本連盟では、ひとり親家庭等のスカウトを対象にした「ともに進もう（ひとり親家庭等応援）助成プログラム」を実施しています。

この助成プログラムでは、「もったいない寄付」によって得た資金を主な原資に、これまで5年間で延べ232人のスカウトに活動資金を助成しました。今年は新型コロナによる影響もあり、例年より多い162人のスカウトに助成しています。

「もったいない寄付」は、書き損じはがきや使用済み切手、本やゲームなど、自分には「不要になったもの」を買い取ってもらう仕組みです。ちなみに、使用済み切手は1kgでおよそ数百円になります。

新型コロナの影響で家にいる時間が増えて断捨離に励んでいる方や、年末に大掃除を予定している方、捨てる前に「もったいない寄付」の取り



組みに参加してみませんか。

個人の方からの寄付はもちろん、各隊や団でもぜひご協力ください。活動の中で、持ち寄ったはがきや切手で「仲間探しゲーム」などをしたら、ビーバー隊やカブ隊のスカウトでも楽しみながら寄付に参加でき、カブスカウトならチャレンジ章「収集家」の挑戦にも繋がります。

11月中旬ごろ、登録関連資料と一緒に各団宛にお送りする「もったいない寄付」のチラシ裏面が送り状になっていますので、ぜひご活用ください。

より多くの資源が必要ですので、ボーイスカウト関係者以外の方（お知り合いの方や勤め先等）への呼びかけも含め、ぜひご協力をお願いいたします。

■ 日本連盟に送れるもの

- ハガキ（未使用、書き損じ/年賀、官製などの種類は問わない）
- 切手（未使用、使用済み）
- テレホンカード/プリペイドカード（未使用、使用途中に限る）
- 外国紙幣（硬貨は対象外） など



※ 全国から寄せられた資源は、仕分けをして日本連盟が一括して換金します。

■ ブックオフに買い取ってもらえるもの

- 書籍、コミック
- CD、DVD、Blu-ray
- ゲーム（本体およびソフト）、おもちゃ
- カメラ、スマホ、タブレット、パソコンなどの電子機器
- ブランド品、宝飾品 など



※ ブックオフオンラインで事前申し込みをした分の買取（売上）金額が日本連盟に寄付されます。詳細は日本連盟ホームページをご確認ください。



※寄付月間 このキャンペーンは、NPO や大学、企業、行政などのさまざまな立場の人が集まり、寄付が人々の幸せを生み出すことのできる社会をつくるために「寄付」について考え実践するもので、ボーイスカウトはリードパートナーとして参画しています。 <http://giving12.jp/>

もったいない寄付の詳細は、日本連盟ホームページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/mottainai2020/>





新春誌上名刺交換のご案内

さて、次号(1月号)の『スカウティング』に、新年恒例「新春 名刺交換」のページを設けます。お名前のほか、イラストやメッセージを添えることもできますので、全国のスカウト関係者に向けた年始のご挨拶として、年賀状代わりにぜひご利用ください。皆さまのお申し込みをお待ちしております。

■ 規格: 1口 24ミリ×62ミリ(横型)

例)

謹賀新年	今年もよろしく
ボーイスカウト□□□□連盟○○○地区	
委員長	鈴木 一朗
〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号	
tel 03-6913-6262 E-mail scouting@scout.or.jp	

■ 掲載料: 1口 8,000円(消費税込)

■ 締切: 2020年11月20日(金) 必着

■ 原稿:

Eメール・FAX・郵送でお送りください。お申し込みは最大66口(1頁33口×2頁/見開き)まで承ります(書体の指定はご容赦ください)。

なお、自筆(毛筆書体など)原稿をそのまま掲載することやイラスト、ロゴ等も掲載可能です(カラー可)。ご希望の方は規格サイズデータのデータを作成のうえ、ご送付ください。

■ 送金方法: 次のいずれかの方法でお送りください。

※郵便局または銀行が発行する受領証をもって領収書にかえさせていただきます。請求書や領収書が必要な場合はご連絡ください。

郵便振替

00130-1-56119 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

銀行振込

三菱UFJ銀行 春日町支店 普通預金 No.0383873

みずほ銀行 本郷支店 普通預金 No.2855005

※いずれも、口座名は「公益財団法人ボーイスカウト日本連盟」

現金書留

「名刺交換」と明記の上、日本連盟 社会連携・広報部宛にご送付ください。

■ お申し込み・お問い合わせ先:

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局 社会連携・広報部

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

TEL 03-6913-6262(代表) / FAX 03-6913-6263

Eメール scouting@scout.or.jp



SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2021年1月1日発行

新年特大号

2022年の日本連盟創立100年まで、あと1年。100周年に向けてさまざまな準備を進めています。1月号では、総長、理事長、日本連盟コミッショナーの年頭所感のほか、恒例の新春名刺交換などを予定しています。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

電話 03-6913-6262(代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定 / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があり、また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのお投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

『スカウティング』2020年11月号 No.740 令和2年11月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>

スカウティングは、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、団委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は団での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封して送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封して送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部にご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合はお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。

©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2020 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL: 03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。

デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料により簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。

ぜひご利用ください。

通常はIDとPASSを入力していただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動への臨時措置としてパスワードを解除します。ぜひスカウトや保護者の皆さまにもご案内ください。自宅におけるスカウト活動などにもお役立ただければ幸いです。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>

ID: scouting-magazine

PASS: sonaeyotuneni



100

YEARS OF SCOUTING
IN JAPAN

1922 - 2022



73005 ネッカチーフリングカラー ¥385-



73001 ネッカチーフリングいぶし銀 ¥462-

100th ANNIVERSARY COLLECTION

ご好評いただいている100周年記念グッズ。抽選販売のネッカチーフリングゴールドは定数の約9倍のご応募をいただきました。現在マスキングテープやシェラカップなどの新商品を続々開発中。限定販売のネッカチーフリングプラチナも近日抽選販売開始予定です。今後の情報は各種 SNS やホームページ等をご覧ください。



SCOUTING 2020/11 740

スカウトイング
発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
令和2年11月1日発行(奇数月1日発行)

発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
電話 03 (6913) 6262 (代)

定価 ¥200 (税込)
郵便振替 00130-1-66119
口座名義 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

ONLINE SCOUT SHOP & SCOUT SHOP TOKYO

WINTER SALE

2020.12.1 START

SCOUT SHOP JAPAN
Official Shop of the Scout Association of Japan

